

令和4年度 社会福祉法人さくらんぼの里 事業報告

1. 運営方針

運営方針	実施内容及び今後の課題
(1) 利用者一人ひとりの実態に即した積極的な支援に努める。	(1) 利用者の実態把握に努め、実情に即した「個別支援計画」を作成し共通理解のもと支援内容を工夫した。
(2) 職員を適材適所に配属して、効率的に業務執行ができるようする。	(2) 職員の希望も取り入れ、適切な職務分担に努め意欲的に取り組めるようにした。
(3) 安全で清潔な生活しやすい施設設備などの環境を整備する。	(3) コロナ感染対策の継続及び施設内を清潔に保ち、整理整頓の推進に努めた。
(4) 安定した運営ができるよう財政基盤を強化する。	(4) できるだけ財政上の無駄を排し、計画的で健全な資金活用に努めた。

2. 重点目標

重点目標	実施内容及び今後の課題
<p>(1) 利用者支援</p> <p>① 利用者の特性をふまえて、適切なサービスを提供する。</p> <p>② 機能の低下を防ぎ、持っている能力の維持・向上を図る。</p> <p>③ 持っている能力に応じ、自立した日常生活と社会生活ができるようにする。</p> <p>④ 常時リスク管理に努め、利用者が安心安全に過ごせる生活環境作りに努める。</p> <p>⑤ 虐待防止のための対策を強化する。</p>	<p>① 利用者の特性にあった、サービス分担に振り分けて活動することができた。</p> <p>② 利用者の得意や強みに着目し、その能力の維持・向上を図った。</p> <p>③ 利用者の生活課題を計画的・段階的に解決できるように支援した。</p> <p>④ 利用者の不安を除去できる体制整備に努めた。</p> <p>⑤ 虐待防止につながる研修に努め、職員の共通理解を図った。</p>

<p>(2) 職員の効率的職務遂行</p> <p>① リーダー層、中堅層、若手層が相互に信頼しあい高めあう組織にする。</p> <p>② 職員間相互の報連相(報告・連絡・相談)に努め、より一層の職員連携を強化する。</p> <p>③ 将来的な世代交代を見据えた人材育成に努める。</p> <p>④ 支援のあり方の向上に努め、自己研鑽に励む。</p> <p>⑤ 育児・介護休業法改正により雇用環境整備を図る。</p>	<p>① 職員の職務経験や職務内容を踏まえて、互いの協力により信頼醸成ができるようにした。</p> <p>② 職員間の活発なコミュニケーションに努め、より良い職員連携が図れた。</p> <p>③ 若手をリーダー層に登用するなどして、世代交代を考慮した人材育成に努めた。</p> <p>④ 利用者支援向上のための研修研鑽を常時行っていく必要がある。</p> <p>⑤ 規程等の見直しを行ったが、今後職員に対する周知徹底が課題である。</p>
<p>(3) 施設設備等の環境整備</p> <p>① 施設内外の環境改善に努める。</p> <p>② 業務に必要な書類の保管整理に努める。</p> <p>③ 利用者にとって機能的に活用できる環境を整備する。</p> <p>④ 利用者が安心して過ごせる場を確保する。</p>	<p>① 常時施設内外の環境を点検し、危険の早期発見に努めた。</p> <p>② 共有書類の保管整理に努めているが、個人所有の書類整理が課題である。</p> <p>③ 事務室は職員が増えているにもかかわらず手狭なため整理整頓が不十分な状況が続いたままなので、今後根本的な対策が必要である。</p> <p>④ 利用者にとってクールダウンできる場の確保に努めた。</p>
<p>(4) 財政基盤強化</p> <p>① 常時適正で透明性のある財務管理に努め、見通しのある財務状況を維持する。</p> <p>② 余裕資金が確保できるように努める。</p> <p>③ 助成制度等を積極的に活用する。</p> <p>④ 下請け加工作業などの生産活動を安定的に行うため、取引先の拡大に努める。</p>	<p>① 適正な会計処理によって、計画的な財務運営を行うことができた。</p> <p>② 黒字を確保することができた。</p> <p>③ 助成制度を活用して新型コロナウイルス対策などができた。</p> <p>④ 段ボール組立て・農福連携作業などの拡大ができた。</p>

<p>⑤ 自主製品や仕入れ商品等の販売網を拡大し、積極的な販売活動によって、より一層の収入増に努める。</p>	<p>⑤ こんにやく販売網を拡大することができた。</p>
---	-------------------------------

3. 到達目標

到達目標	実施内容及び今後の課題
<p>(1) 利用者支援</p> <p>① 利用者の平均工賃が年間15万円に達するようにする。</p> <p>② 本人や保護者の意見を取り入れた個別支援計画に基づき、PDCA(Plan → Do → Check → Action)サイクルを踏まえて適切な支援にあたる。</p> <p>③ ケース会議(毎月開催、利用者一人当たり年間2回以上実施)などにより、利用者一人ひとりの実情について共通理解を図り、支援の適正化に努める。</p> <p>④ グループホーム入居者の自立的な生活が円滑にできるようにする。</p>	<p>① 利用者の平均工賃が年間13万余円とコロナ感染の影響もあり目標を達成できなかった。</p> <p>② 保護者聞きとりなどにより個別支援計画の作成に努め、より良い支援のあり方を模索してきたが、さらに焦点化した内容のものにする必要がある。</p> <p>③ ケース会議の実施により、利用者の実情について知ることができたが、支援に関する具体策をより掘り下げることが課題である。</p> <p>④ GH2棟目が開所し、入居者は安定した生活を送っている。</p>
<p>(2) 職員の効率的職務遂行</p> <p>① 業務上基本的な知識と技能を必要とする資格取得や研修受講に努める。</p> <p>② 利用者一人ひとりに合った作業効率の正確性や効率性向上のための援助や治具などの方法を工夫する。</p> <p>③ 利用者にとって、安定的に作業内容や量を確保できるように、取り引き先や販売網の開拓や交渉に努める。</p> <p>④ 職員の待遇改善に努め、勤務時間内で職務遂行できるよう、職務内容や</p>	<p>① 資格取得のためには、研修時間の確保や費用がハードルになっていて、施設として保障ができず、職員の自主性に任されているのが課題である。また、「職員ルールブック」を作成し、職員の基本的な職務内容を確認できるようにしているが、それぞれが適宜活用することが課題である。</p> <p>② 加工作業・自主製品づくり・販売活動に役立つ利用者に合った場の設定や治具の工夫で作業効率を上げることができた。</p> <p>③ 自主製品の販売網拡大や加工作業の下請け先の開拓に努めた。</p> <p>④ 職員全体の残業時間は減少しているが、職務内容が偏って負担過重になっ</p>

<p>役割分担を明確化・焦点化して、効率的で効果的な職務を行う。</p>	<p>ている職員に対する改善が必要である。</p>
<p>(3) 施設設備等の環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 支障のある扉の修繕を順次行う。</li> <li>② 事務室内の書類保存を明確にし、デジタル保存管理などに努める。</li> <li>③ 事務室内を各職員が機能的に使えるよう共有化スペースを設ける。</li> <li>④ 新規車両を導入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 扉を3か所改修することができた。</li> <li>② 事務作業の効率化により、デジタル化を図るための計画が必要である。</li> <li>③ 開設当時に比べて職員が大幅な定員増により、キャパが限界にきているので、施設のあり方を検討する必要がある。</li> <li>④ 計画的な車両の導入が必要である。</li> </ul>
<p>(4) 財政基盤強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 障害者福祉サービス等報酬改定に応じた加算確保のための条件等の整備を図る。</li> <li>② 年間余裕資金が、0.5%前後確保できるようにする。</li> <li>③ 国や市及び私的な助成資金の情報収集に努め、その確保に努める。</li> <li>④ GHの運営が円滑に実施できるよう明確な資金計画を立案する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 定員30名に対して、利用者が35名確保できた。</li> <li>② 年間で100万余円黒字化することができた。</li> <li>③ コロナ感染対策として、市及び加入団体からの見舞金・助成金をいただき、感染予防に努めた。</li> <li>④ グループホーム女子棟「すまいる」が2室空きがあり、その空室をうめる必要がある。</li> </ul>

4. 中長期事業計画

項目 年度	(1)利用者支援 「福祉サービス事業拡大検討」	(2)職員の業務 「収益性ある自主製品研究及び就労支援」	(2)職員の資質 「福祉関係資格取得及び更新」	(3)施設設備等の環境整備 「施設修繕・改修」	(4)財政基盤強化
4年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 建貸 GH 2棟目「びーす」5月開設</li> <li>◎ GHの運営安定化</li> <li>◎ 事業拡大の必要性及び事業内容の年次計画の策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 自主製品の定着化及び販路拡大による生産性の充実</li> <li>◎ オオヒサよりこんにやく販売受託=イオン産直市で販売</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 講師招へいして症例研究を充実 ・講師=佐竹真次氏(保健医療大名誉教授)年3回 年間研究のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 事務室共有スペース化</li> <li>◎ プレハブ小屋交換→二機</li> <li>◎ 軽バン新車リース</li> <li>◎ 樹木伐採</li> <li>◎ 不燃ごみ回収</li> <li>◎ 施設設備等の改修に向けた年次計画策定(下駄箱・クールダウン室等のあり方)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 年間収入1%余裕資金確保</li> </ul>
5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 2棟のGH運営2年目運営安定化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 自主製品の定着化</li> <li>◎ 利用者の技術向上化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 研修の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 施設設備等の改修資金の確保について検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 年間1%余裕剰資金確保</li> </ul>
6年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 2棟のGH運営3年目運営安定化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 自主製品の定着化</li> <li>◎ 利用者の技術向上化の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 研修の充実</li> <li>◎ 新資格取得者1名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 施設設備等の改修開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 年間1%余裕資金確保</li> </ul>
7年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ GH3棟目計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 自主製品の定着化</li> <li>◎ 利用者の技術向上化の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 研修の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 施設設備等の改修2年目</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 年間1%余裕資金確保</li> </ul>

#### 4. 事業別運営内容

- ◎ 新型コロナウイルス感染防止対策を継続し、安全な環境作りに努めた。
  - ・ 1日3回全館の消毒、換気、手洗い、うがい、マスク着用の継続
  - ・ 密にならないよう活動の分散化      ・ 時間差による食事の提供
  - ・ 外部との交流を遮断し、リスクを最小限にとどめたが、2回のクラスター発生と3回の休園の措置をとった。利用者宅へ相談支援を実施。
- ◎ 生活の質の向上
  - ・ 過ごしやすい生活の提供のために、人的・物理的な環境の整備
  - ・ 安定できるための個室の活用及び、作業場の分離
- ◎ 意思決定支援
  - ・ 意見を発信できる利用者は限定されるが、一人ひとりの理解できる方法で自己選択・決定の機会を多く取り入れた。
  - ・ 行事等縮小により、利用者意向を主体とする活動が組めなかった。
- ◎ 権利擁護
  - ・ 権利擁護・虐待防止等の担当職員の配置及び研修参加の復命にて全員周知の徹底が図られた。
- ◎ 支援力向上
  - ・ 講師を招聘し、症例研究を3回実施した。職員の支援の視点や具体的な声掛けの支援方法についてアドバイスを頂き、実践した結果改善・成果が見られた。支援継続中ではあるが、単年において、症例研究のまとめを作成した。

##### (1) 生活介護事業

定員10名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	10名	10名	10名
出席率	85.3%	87.1%	75.7%
定員数対比	85.3%	87.1%	75.7%

※1名 コロナ感染予防のため自己欠席及び不調等により、利用率29%  
他9名の利用率は 92.3%      皆勤賞 2名

- ① 継続的な体験を積み重ね、場面への適応力を高める支援を行った。
  - ・ 外出、公共施設利用（温泉・外食）は感染予防の観点から計画なし。
  - ・ 日々、食事の場面で“待つ”“順番を守る”などのルールやマナーを身に付け社会適応力を高める支援を継続している。
- ② 個々の特性に応じて、コミュニケーションを大切にし、安定した生活につなげるための環境整備に努めた。
- ③ 日々の生産活動・創作活動及び娯楽活動をとおして、経験の幅を広げながらステップアップを図った。

- ・作業への意識づけと、一人ひとりの持っている力や得意な作業工程を担うなど、細やかな支援に努めた。
- ④ 将来の豊かな生活を視野に入れ、家庭と共有化を図りながら健康面・生活面の支援を行う。
- ・健康管理…看護職員による血圧測定の継続。手洗いの指導による感染防止対策を講じた。

## (2) 就労継続支援B型事業

定員30名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	36名	35.25名	35名
出席率	94.4%	95.1%	95.9%
定員数対比	111.2%	111.8%	111.8%

※皆勤賞 15名（内5年連続皆勤賞2名） 精勤賞 3名

### ① 就労活動

利用者の力に合わせた目標の設定、作業能力の向上を図り工賃向上につなげる取り組みを行った。作業技術と意欲向上の成果が見られた。

- ・自主製品…こんにやく、市の優先調達方針継続〔市立保育園への配達〕  
こんにやく・しそ巻きのバリエーションが増え（ちぎりこんにやく・旨味噌スティックなど）販売店舗の拡大となった。
  - ・下請作業…新規作業の導入により、全員が専門的作業の幅が広がり作業技能が向上した。
  - ・販売…コロナ禍において、外部バザー及び施設祭等の開催ない状況下の中、顧客のニーズに合わせた仕入れによって、無駄を軽減し収入に繋がった。
- ② 施設外支援…地域社会の中で、外部指導者の下、社会的な関わりを通して社会生活力と意欲の向上を図った。〔ふれ愛実習11名〕
- ③ 施設外就労…農副連携 トマト収穫・里芋選別等の作業に携わった  
1チーム利用者2～3名・職員1名
- ④ 体力増進…「意識して体を動かす」ラジオ体操の徹底、ウォーキングの継続によって、体力の低下防止・維持に努めた。
- ⑤ 資源回収…毎月1回実施。家庭及び事業所の資源回収をとおして、社会参加と山形市ごみ減量推進へ貢献。
- ⑥ 地域貢献活動…月1回、子ども食堂へ食材を提供した。（こんにやく）  
ペットボトルキャップを終了し・プルタブの回収を行った。

(3) 共同生活援助事業

グループホーム「すまいる」 平成29年12月

定員6名	令和2年度	令和3年度	4年4月	5年3月
利用者数	6名	6名	6名	4名
利用率	79.0%	81.8%	71.1%	67.7%
定員数対比	79.0%	81.8%	71.1%	67.7%

◎帰省状況

毎週帰省	月1～2回	帰省なし
3名	1名	1名

※土曜日が全員登園日や祝日に残る利用者が若干増えた。

グループホーム「ぴーす」 令和4年5月開設

定員7名	令4年度5月～
利用者数	7名
利用率	79.0%
定員数対比	79.0%

◎帰省状況

毎週帰省	月1～2回	帰省なし
3名	3名	1名

- ① 5月2棟目が開設し、女性棟・男性棟に分離した。すまいる入居者4名の引っ越しの理解を得るため家庭説明を行い理解を得たうえで引っ越しを実施。初めての入居者に対して、安心した共同生活に移行できるまで施設職員が個別支援を継続した。
- ② 家としてくつろぐ場の提供・自立ある生活ができるよう、スタッフと情報を共有しながら同じ方向性をもって、全体・個別に支援した。
- ③ 誕生会や季節の行事の希望を出し合い皆で企画したが、コロナ禍の中、職員が調整準備し楽しんだ。
- ④ 帰省の計画は、本人の希望と安定を考慮して家庭と調整した。
- ⑤ 休日や長期休みの過ごし方支援として、本人の希望にあわせコロナ感染防止対策を講じながらも外食で気分転換を図るにとどまった。
- ⑥ 新規入居者の個別対応及び入居に向けた練習の実施。入居の計画及び準備。備品等の購入、設置。
- ⑦ 利用に向けて体験利用実施 1月～ 1名



5. 苦情受付状況の報告 [令和3年11月～令和4年10月]

令和5年1月17日(火) 第三者委員会定例会

○苦情 3件 2家庭より3件 対象…同職員

- ① 家庭に対する配慮不足の言動
- ② 利用者支援の不足及び家庭への説明の不適切
- ③ 苦情1以後 改善見られない

対応・上司・管理者との面談及びチェックリストによる振り返り意識  
改善することの指導を行った。

・生活担当の変更

第三者委員より…繰り返している状況から改善は難しい、配置転換に  
より、周りのフォローを覚悟のうえで当たり障りのない業務へ。

○苦情 1件 一般市民

- ① 送迎車の敷地出入りの際のスピード。

対応・該当運転者への聞き取り・注意点の確認

・運転者打合せ会において、全運転者への周知及び文書による  
注意喚起の徹底

○グループホームの相談受付 0件

6. 法人の部

開催日	曜	内 容	備 考
5月30日	月	法人監査	のぞみの家 監事 2名
6月10日	金	第1回 理事会 1. 評議員会の議案について 2. 社会福祉法人さくらんぼの里 事業報告について 3. 社会福祉法人さくらんぼの里 決算について 4. 社会福祉充実残額について	のぞみの家 理事 6名 監事 1名
6月27日	月	第1回 評議員会 1. 事業報告について 2. 決算について 3. 社会福祉充実残額について	のぞみの家 評議員 6名 欠席 1名 監事 2名

3月17日	金	第2回 理事会 1. 最終補正収支予算書について 2. 積立金の取崩しについて 3. 令和5年度 経営計画について 4. 令和5年度 当初収支予算書について 5. 職員給与規程の一部改正について 6. 臨時職員就業規則の一部改正について 7. 法人賠償責任保険の更新について	のぞみの家 理事 5名 欠席 1名 監事 1名
-------	---	--	----------------------------------

## 7. 現 況

### (1) 利用状況報告 支給決定市町村別

	山形市		上山市		村山市		長井市		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
生活介護	5	3	2						10
就労B型	26	6	1			1	1		35
計	31	9	3			1	1		45
グループホーム (5月以降)	3 (6)	1 (3)				1	1		6 (11)

### (2) その他

4月23日(土)	GH2棟目 見学会(鉄砲町)
5月1日(日)	GHぴーす開所式
随時	ぴーす入居 ⇒ すまいる入居
毎月	調整会議・職員会議・工賃向上会議
年2回	給食検討委員会
随時	GHスタッフ会議・送迎運転者会議
年1回	第三者委員会定例会

### (3) 職員の状況

	期首	期末
のぞみの家	11	11
のぞみの家パート / 看護師	4 / 1	4 / 1
GH	10	13
送迎員	4	4
嘱託医	1	1
計	31	34

## (4) 活動・行事

開催日	曜	内 容	備 考
4月16日	土	花見 ○公用車外出 (寒河江公園) ○徒歩散策 (室内ゲーム⇒耕源寺⇒平泉寺) ○調理実習 (花見団子作り・全員分)	選択活動
6月23日	木	体験採取 さくらんぼ	悠創の丘
6月25日	土	あじさいロード草取り・側溝掃除 ティータイム (選択デザート)	のぞみの家
7月 9日	土	あじさい・こんにやく祭 [縮小版・保護者のみ招待] ○販売 (自主製品・授産品) ○発表 (紙芝居の読み聞かせ) ○お取り寄せグルメの販売 (25種類)	のぞみの家 選択活動
7月25日	月	体験採取 プルーン	悠創の丘
9月10日	土	あじさい剪定・除草作業・側溝掃除	のぞみの家
10月 8日	土	ぶどう狩り [旅行代替え行事] ・すし・うなぎ・ステーキなど5種類の豪華弁当	天童
11月12日	土	芋煮会 [のぞみの家まつり代替え行事] 避難訓練	のぞみの家
11月		そば何処「すぎ」様より新そばの招待	すぎそば
12月24日	土	クリスマス会 ○オーナメント作り ○クリスマスソング ○年賀状作り [マックスバリュ東原店様よりお菓子の慰問]	のぞみの家
1月		外食 [地域に還元] 開店と同時、部屋の貸し切り	すぎそば
1月28日	土	新春神社参り ○石行事 (歩き) 本堂で住職のお話 ○護国神社 (公用車) ○絵馬書き	選択活動
2月25日	土	軽運動 ○個人競技 [ゲートボール・借り物競争・多種目リレー] ○団体競技 [シッティングバレー・綱引き]	ヒルズサン ピア
3月11日	土	大掃除	のぞみの家
3月25日	木	年度末食事会 (外食は中止) ○1年の振り返り発表 ○ビンゴ大会 ○集合写真 ・豪華弁当 (8種類) ・ケーキ (4種類)	のぞみの家
毎月		○クリーン作戦 ○ウォーキング ○さくらんぼ市	
4月～7月		ふれ愛実習 11名	ふれ愛

## (5) 研修・会議等参加一覧

日付	曜	研修名	参加者	備考
4/22	金	福祉協会研修会 福祉団体連絡会	田中頼子	研修会は zoom 連絡会は市福祉センター
6/7	火	工賃向上スキルアップ研修①	井上吉典	Zoom での研修
6/16,17	木・金	障がい児・者福祉関係新任職員研修	井上吉典	山形県社会福祉研修センター
6/25	土	職場内研修 症例研究①	全職員	講師：佐竹真次 氏
6/30	木	リスクマネジメント研修	林良恵	Zoom での研修
7/1	金	アンガーマネジメント研修 「怒りの感情と上手につきあうために」	林良恵	Zoom での研修
7/5	火	障がい児・者施設職員研修 1 「インテークとアセスメント」	工藤貴伸	Zoom での研修
〃	〃	工賃向上スキルアップ研修②	井上吉典	Zoom での研修
7/28	木	山形市自立支援協議会	田中頼子	市役所
8/5	金	サービス管理責任者更新研修	林良恵	山形県庁
8/18,19	木・金	山形県障がい者相談支援従事者研修 (特別研修)	松田吉邦	Zoom での研修
9/1	木	公益活動部会	田中頼子	オンライン研修
9/6	火	サービス管理責任者基礎研修 ① 講義	松田吉邦	オンライン研修 (動画視聴)
9/10	土	研修報告会「新任職員研修」	全職員	発表：井上吉典
9/22	木	職場内研修 症例研究②	全職員	講師：佐竹真次 氏
9/26	月	活性化委員会	松田吉邦	Zoom での研修
9/28	水	インボイス対応研修会	吉田瑠美	ビックウイング
10/12,13	水・木	サービス管理責任者基礎研修 ② 演習	松田吉邦	山形県総合運動公園 大会議室
10/18	火	市長と語る会	田中頼子	山形市役所
10/21	金	山形県共同受注センター事業説明会	松田吉邦 井上吉典	Zoom での参加
10/25	火	人材確保・定着支援研修	田中頼子	山形県社会福祉研修センター
10/31	月	支援スタッフ部会研修会	林良恵	オンライン研修

11/2	水	施設長研修会	田中頼子	ヒルズサンピア
〃	〃	安全運転管理者講習会	荒井勉	ビックウイング
11/8	火	共同受注センター説明会	松田吉邦 井上古典	自治会館
11/8,9	火・水	中堅職員キャリアパス研修課程	水戸部麻衣	山形県社会福祉研修センター
11/11	金	整備管理者講習会	荒井勉	天童トラック会館
11/12	土	職場内研修「インボイス制度について」	全職員	説明者：吉田瑠美
11/21	月	県民福祉大会	荒井勉 峯田豊和	新庄市
11/23	水	衛生管理者研修	片田ゆう子	霞城セントラル内保健所
12/9	金	経営者協研修	田中頼子	ヒルズサンピア
12/22	木	職場内研修 症例研究③	全職員	講師：佐竹真次 氏
12/24	土	研修報告会 「人材確保・定着支援について」	全職員	発表：田中頼子
1/13	金	山形市福祉団体連絡会研修会	工藤貴伸	オンライン研修
1/17	火	第三者委員定例会	黒木理事長 田中施設長 工藤サビ管 荒井 GH サビ管	浅野孝 石沢長栄 佐竹真次 3名出席
1/24	火	権利擁護研修	林良恵	Zoom での研修
1/26	木	権利擁護推進委員研修会	林良恵	Zoom での研修
1/27	金	市社協福祉施設等連絡会 企画実行委員会	林良恵	Zoom での研修
2/1	水	権利擁護について（講話聴講）	林良恵	Zoom での研修
2/17	金	商品開発研修会	井上古典	Zoom での研修
2/21	火	自立支援協議会定例会	田中頼子	山形市役所
3/16	木	支援力向上研修会・講演会 （講演会のみ聴講）	工藤貴伸	Zoom での研修